



花さき山

タイトル文字：滝平二郎



育児コンシェルジュ

毎週火曜日・木曜日

10:00~14:30

育児のお悩み相談が
出来ます。
お子様にオススメの本も
紹介します。

※専門スタッフが対応します。
※コロナの状況によって中止になる
場合もあります。

大人向け映画会

場所：明野図書館 視聴覚室

日時：11月20日(日)

10:00~12:05

内容：「博士と狂人」

(上映時間：約124分)

対象：先着10名

申込：11月8日(火)

~11月18日(金)

電話または窓口にて受付

図書館サイト 説明会

お手持ちのスマートフォンやタブレットで
図書館サイトを活用しませんか？

使い方をご説明します！

日時：11月2日(水) 11:00~12:00

定員：5名(電話または窓口にて受付。

当日受付も可。)

ぬりえ王選手権！

【第5回目】

場所：明野図書館

ぬりえ配布期間：11月1日(火)

~11月30日(水)

内容：イベント期間中、ぬりえを配布
します。塗ってもらったぬりえ
は明野図書館に飾ります。

定員：20人

対象：年齢制限なし



フィーチャー Feature

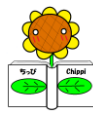
スタッフおすすめコーナー
11月のテーマは
「おいしい本」

秋も深まり、食べものもおいしい季節に
なりました。

そこで…おいしい本はいかがですか？

栗、いも、かぼちゃ etc

どうぞ召し上がれ!!



護 国 園

— 北畠親房公追懐の標 —

中村 勝美

下妻市大字大木に中村家所有地(約三反歩)の土地を開いて一つの園を造り、護国園と名付けた。中央に小高く土を盛り標柱を建て、北畠親房公追懐の標と刻む。大正12年から6年の歳月をかけ、当時、関城遺蹟保存会会長であった中村宝水が、この標を建立したものである。護国園とは、南北朝時代関城城主 関宗佑の後醍醐天皇への忠誠心を頼り、この地(関城)で神皇正統記を修訂し完成させ、吉野へ帰り、最後まで南朝の柱石として働いた、北畠親房公を顕彰しようと名付けた場所をいう。すなわち、国家を守護するところである。

当時は、記念碑建立に多くの賛同者による寄贈もあった。地理的には下妻市域に属し、旧大宝沼の西側に位置し、近郊の名物でもあった。花見、夕涼み、紅葉及び雪見等、四季を通じて賑わいを見せた。まさに景勝の地でもあり、かつては折に触れて御詠歌、又は剣道大会なども催され、多くの文人墨客が訪れ、各々感慨を詩や絵に託した。しかしながら、今では訪れる人もほとんど無くなってしまった。

この度、この園を万人に知ってもらう為、当家の庭に移設し完成させた。規模こそ縮小したもの、関城跡、土塁跡、及び坑道跡のルートにも近く、郷土史勉強の一助になればと考える。興味のある方は、是非、見学にお越しいただきたいと思料する(要事前予約:080-9324-1022)

下記は当時、中村宝水が、北畠親房公及び関城などを想い、感慨を新たにして、漢詩に表現したものである。

護國園林是故城	祀靈元要安神人	洋洋水滿一心清	花下歡聞劍戟聲	(一句略)	至誠不疑神人感	叱咤亂闢揺乾坤	劍戟聲高風雨惡	會衆慰靈護國園	櫻花燦爛雲一朵	今見湖頭櫻花村	關城荒涼六百歲	中村 寶水 作
護國園林、是れ故城なり	靈を祀り要を元として神人を安んず	洋洋として沢滿ち、一心は清し	花の下歡びて聞く劍戟の聲		至誠は疑はず神人感たり。	叱咤亂闢乾坤を揺るがす	劍戟の聲は高く、風雨は惡し	衆會護國園にて靈を慰む	櫻花は燦爛として雲は一朵なり	今湖頭櫻花の村を見る	關城は荒涼として六百歲	

(なかむら かつみ/中村宝水資料館館長)